

平成26年6月19日

関西ペイント株式会社
関西ペイント販売株式会社

高耐候低汚染1液水性つや消し塗料「アレスシルクウォール」新発売

関西ペイント株式会社(本社：大阪市、石野博社長) ならびに関西ペイント販売株式会社(本社：東京都、毛利訓士社長)は、主に建物外装改修時に使用する高耐候低汚染1液水性つや消し塗料「アレスシルクウォール」を発売することになりましたのでお知らせします。

『アレスシルクウォール』

「アレスシルクウォール」は、建築外装改修市場において昨今ニーズが高まっているつや消し仕上げのやさしい質感を呈しつつ、長期の美観を維持する低汚染性と水性シリコン樹脂系塗料同等以上の耐久性を兼ね備えた、既存のつや消し外装塗料の概念を超えた新製品です。

「マイクロパウダー技法」を用いたつや消し技術は、おだやかな仕上がり感で、膜厚や温度による影響を受けにくいいため、つやの変動が生じにくく、つやムラが生じず、補修塗りも容易です。

また、つや消し塗料でありながら、乾燥塗膜が強靱で伸び易い特長を有し、微弾性系下塗りはもちろん弾性系下塗りの上にも塗装でき、幅広い下地選択性と旧塗膜選択性があります。また幅広い色域での調色が可能です。

関西ペイント販売(株)は、建物外装改修時の提案アイテムとして「アレスシルクウォール」の拡販につとめてまいります。

<発売開始> 平成26年6月
 平成26年度販売目標：120t

<定価> アレスシルクウォール 白 ¥32,880 (15kg)

以 上

本件に関する問い合わせ先： 関西ペイント販売株式会社
建築塗料販売本部 営業部 笹川 昌嗣
TEL： 03-5711-8904 FAX： 03-5711-8934

高耐候低汚染1液水性つや消し塗料

アレスシルクウォール

適用素材 コンクリート、モルタル、サイディングボードなど

適用旧塗膜 リシン、スタッコ、つや消し意匠材など

Ales Silk Wall

やさしい質感

「マイクロパウダー技法」を用いた
つや消し技術により、
おだやかなつや消し感を呈します。

優れた低汚染性

「特殊親水性粒子」による
低汚染性は美観を
長期にわたり維持します。

高い耐久性

弾性系塗材にも塗装可能で
経年での耐ワレ性に優れた
耐久性を有します。

アレスシルクウォール (容量:15kg)

Ales Silk Wall

標準塗装仕様 (例)

コンクリート/モルタル (塗替時の仕様)

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)	希釈剤 (希釈率)
1	素地調整	モルタルの浮き・クラックなどは適切な処置を行う。 劣化塗膜やチョーキング・汚れなどを高圧水洗にて除去し、乾燥した清浄な面とする。			
2	下塗り	0.3~0.5	ウールローラー	8時間以上7日以内	上水 (5~10%)
		0.8~1.5	多孔質ローラー	8時間以上7日以内	上水 (1~5%)
3	上塗り (1回目)	アレスシルクウォール	ハケ、ローラー	2時間以上7日以内	上水 (0~10%)
4	上塗り (2回目)	アレスシルクウォール	ハケ、ローラー	-	上水 (0~10%)

窯業系サイディング (塗替時の仕様)

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)	希釈剤 (希釈率)
1	素地調整	窯業系サイディングボードのクラック、ボード面の脆弱層のクラックなどは適切な処置を行う。 劣化塗膜やチョーキング・汚れなどを高圧水洗にて除去し、乾燥した清浄な面とする。			
2	下塗り	アレス水性エポキシ (ベース/硬化剤=5/1)	ハケ、ローラー	4時間以上7日以内	上水 (0~15%)
3	上塗り (1回目)	アレスシルクウォール	ハケ、ローラー	2時間以上7日以内	上水 (0~10%)
4	上塗り (2回目)	アレスシルクウォール	ハケ、ローラー	-	上水 (0~10%)

艶消し意匠材 (塗替時の仕様)

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)	希釈剤 (希釈率)
1	素地調整	モルタルの浮き・クラックなどは適切な処置を行う。 劣化塗膜やチョーキング・汚れなどを高圧水洗にて除去し、乾燥した清浄な面とする。			
2	下塗り	アレス水性エポキシ (ベース/硬化剤=5/1)	ハケ、ローラー	4時間以上7日以内	上水 (0~15%)
3	上塗り (1回目)	アレスシルクウォール	ハケ、ローラー	2時間以上7日以内	上水 (0~10%)
4	上塗り (2回目)	アレスシルクウォール	ハケ、ローラー	-	上水 (0~10%)

※標準所要量は、被塗物の形状や下地の状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。

施工上の注意事項

- 気温5℃以下、湿度80%以上、また強風、降雨、降雪が予想される場合は塗装を中止してください。
- 塗り替えの場合、旧塗膜の劣化が著しいときは、サンダー・ワイヤーブラシ等でぜい弱な塗膜を除去し高圧水洗を行ったのち、1日乾燥後塗装してください。
- 使用前に塗料を均一にかき混ぜてください。特に濃色系塗料は長く放置されると容器内で分離 (顔料沈降) することがありますので、十分攪拌の上、ご使用ください。
- 押出成型板、GRC板などの緻密な素材には、溶剤系エポキシシーラー (マルチタイルコンクリートプライマーEPO) をご使用ください。
- 軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業系サイディングおよび発泡ウレタンなどを使用した壁断熱工法などの「高断熱型外壁」を塗り替える際、旧塗膜が溶剤系アクリルトップである場合は蓄熱や水の影響、塗装後の環境などいくつかの条件が重なることで、塗膜のふくれが生じることがあります。旧塗膜をラッカーシンナー拭きして簡単に塗膜が再溶解する場合は、下塗りに「マルチタイルコンクリートプライマーEPO」を塗装してください。
- ハケ塗りや補修塗りを行う際、ローラー塗りとの仕上がり肌や希釈率の違いによる色差が生じることがありますのでご注意ください。
- 合成皮革、ゴムパッキン、塩化ビニル製品などと塗膜の接触は避けてください。可塑剤のブリードによる粘着が起こる場合があります。
- シーリング材の上は塗膜のワレや汚れが生じることがありますので塗装は避けてください。やむなく塗装する場合は、事前に試験塗装を行い付着性、粘着性が問題ないことを確認の上、施工を進めてください。その際の下塗りに「シーブラ」または「マルチタイルコンクリートプライマーEPO」を使用することをお勧めします。
- 塗装用具などの洗浄の際、上水で落ちにくい場合はラッカーシンナーを用いてください。
- 施工部位、被塗物の形状、環境条件により低汚染性が十分に発揮されない場合があります。
- 塗料を開放して長時間放置すると上乾きする場合がありますのでご注意ください。
- 濃色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがありますのでご注意ください。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。
詳細な内容については化学物質等安全データシート (MSDS) をご参照ください。

■ 予 防 策

取り扱い作業中・乾燥中とともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具 (帽子・保護メガネ・マスク・手袋等) を着用し、身体に付着しないようにすること。

吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。

皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。

本来の目的以外に使用しないこと。

指定材料以外のものとは混合 (多液品の混合・希釈等) しないこと。

缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。

取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。

使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。

本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

■ 対 応

目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、

医師の診察を受けること。

吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

漏出時や飛散した場合は、砂、布類 (ウエス) 等で吸い取り、拭き取ること。

火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

■ 保 管

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。

直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。

子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

■ 廃 棄

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

■ 施工後の安全

本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでベンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

本 社 TEL (03) 5711-8904 FAX (03) 5711-8934
北海道販売部 TEL (0133) 64-2424 FAX (0133) 64-5757
東北販売部 TEL (022) 287-2721 FAX (022) 288-7073
北関東信越販売部 TEL (028) 637-8200 FAX (028) 637-8223
東京販売部 TEL (03) 5711-8905 FAX (03) 5711-8935
中部販売部 TEL (052) 262-0921 FAX (052) 262-0981
大阪販売部 TEL (06) 6203-5701 FAX (06) 6203-5603
中国販売部 TEL (082) 262-7101 FAX (082) 264-3285
四国販売部 TEL (0877) 24-5484 FAX (0877) 24-4950
九州販売部 TEL (092) 411-9901 FAX (092) 441-3339

ご用命は

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご了承ください。

(14年05月01日PKO) カタログNo.737